

## ニホンカモシカ (学名: *Capricornis crisopus*)

[ウシ目 ウシ科]



▲旅行村で撮影されたニホンカモシカ(2015年7月21日)



▲ニホンカモシカのツノ(標本提供 新国勇氏)

ニホンカモシカは、只見町の全域に生息しておりとても馴染み深い動物です。日本固有種であり国の特別天然記念物に指定される前は、只見町ではツキノワグマとともに重要な狩猟の対象でした。只見町では、アオシヤクラシシ、クラッポと呼ばれています。

ニホンカモシカといいますが、シカではなくウシ科です。シカと異なり群れは作らず、単独で木の葉や草を食べて暮らします。ツノもシカと違いオスとメスの両方に生え、生え変わることがあり

ません。そのためにツノの根元にできるシワの数で年齢がわかります。標本写真のカモシカの角は、シワの数から少なくとも9歳以上です。

ニホンカモシカは森林内の他にも山の斜面や崖の近くにもよくいます。また、雪に強く積雪が多い場所でも生きていけます。冬には雪の積もった山の斜面をよく見てみてください。雪を掻き分けてたくましく進むカモシカが見られるかもしれません。

詳しくは、  
只見町ブナセンター  
までお問い合わせ  
ください

企画展示

「昔の写真から見た只見町」 10月～11月

虎ノ門生態学研究会  
公開講演会

「ブナ林の自然史ー生物多様性とその周辺ー」

日 時：10月10日(土) 午後1時55分～午後5時10分

場 所：朝日振興センター

エコパーク国際交流  
事業講演会

「台湾原住民の伝統的、持続可能な生活文化」

日 時：10月18日(日) 午後1時30分～午後3時

場 所：朝日振興センター

ブナセンター講座

「ニセアカシアの生態と管理ー外来種の脅威!ー」

日 時：10月24日(土) 午後1時30分～午後3時

自然観察会

「伊南川の河畔林を観察しよう!」※事前申し込みが必要です

日 時：10月25日(日) 午前9時～午後2時

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています